



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度 RI会長／ジョン・ジャーム RI.D2590ガバナー／高良 明 横浜旭RC会長／青木 邦弘

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2後藤ビル2F/〒241-0821

TEL.045-365-3273/FAX.045-365-3132

E-mail:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて宮城復興米販売



第5回チャリティコンサート



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント

2017年1月25日 第2275回例会 VOL. 48 No. 26

■司 会 副SAA 内田 敏

■開会点鐘 会 長 青木 邦弘

■斉 唱 手に手つないで

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	25名
本日の出席率	96.15%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

福村

■他クラブ出席者

二宮(麻)(横浜あざみRC)

■ゲスト

安達 亨様(安達亨電気管理事務所所長)

■皆出席者表彰



安藤 公一会員 12年

北澤 正浩会員 4年

二宮 登会員 47年

■会長報告

○地区関係

1) 昨年、旭ロータリーから初めて、ロータリーピースフェローに推薦しました曾我 啓太氏

につきまして、実務経験が1年不足のため土俵に乗れませんでした。現在アフリカのボツワナ国で、少数民族の青少年の育成や村落委員会と行政のコミュニケーションの円滑化に取り組みをされており、応募基準を達成されましたので、推薦することになりました。

任期は2017年7月22日迄で、任期中帰国出来るのは6月1～2日とのことです。新川さんに対応をお願いしています。

2) 1月24日ソシア21で戦略計画・拡大増強セミナーが開催されました。関口さんが参加されました。ご苦労様でした。

3) 2月5日よこはま国際フォーラム2017がJICA横浜で開催されます。隼人高校の発表があります。定員36名です。参加するには事前の申し込みが必要です。

○クラブ関係

1) 2月4日に「女性のためのがんセミナー」を開催します。

二宮さんのご努力で参議院議員の三原じゅん子氏が出席されることになりました。現在180名の参加予定です。300名まで120名席が空いています。会員の皆様へお願いとしまして、男性会員を含めお一人3名の参加をお願いします。

本日社会奉仕委員会を中心に18時からクラブ事務所にて、集客状況の打ち合わせを行います。

2) 6月の親睦月間に東南アジアにメーキャップ旅行をしたいと思っております。行先につきましては、斎藤さんに調べて頂いております。

■グループ研修報告 佐藤 真吾

日時 1月18日(水) 11:45～

参加者 佐藤、後藤、本山、増田研修委員長

テーマ 2月の月間テーマ

(平和と紛争予防/紛争解決)について

課題①

「平和と紛争予防/紛争解決」が月間テーマとされている意義

2014年10月RI理事会は、重点分野である「平和と紛争予防/紛争解決月間」である2月を、紛争予防と仲裁に関する、若者(将来リーダーとなることが望まれる人)を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防/紛争解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間としました。

○ロータリー平和センタープログラム

ポール・ハリスは、2度の世界大戦の中を生き、世界平和の難しさを痛感し、強く平和を希求したロータリアンでした。ポール・ハリスが亡くなって50年を記念してこの構想が立ち上がり、彼のメモリアルプログラムとして2002年に創立されたのが「ロータリー平和センタープログラム」です。

具体的には、ロータリーは毎年、世界各地の大学に設置されたロータリー平和センターで、平和と紛争解決の分野の修士号または専門能力開発修了証を取得するためのフェロシップ(奨学金)を提供しています。このフェロシップで留学する人はフェローと呼ばれ、フェローの多くが各国政府や国連・世界銀行などの国際機関、国際司法裁判所などに就職し、平和構築の第一線で活躍しています。

課題②

この月間テーマを目的とする当クラブのプロジェクトの企画案

- ・世界的なとても大きなテーマである
- ・政治、宗教が大きく関わっている
- ・直接働きかけるようなルートがあるのか
- ・紛争地域の現状を把握できていない

直接的なプロジェクトは難しい。間接的なプロジェクトになるのではないか

- ・まずは紛争について、原因や要因、現状を学び、理解をする
- ・実際に活動を行っているNGOに卓話を依頼する
- ・NGOへの支援、協力
- ・ロータリー平和フェロシップの候補者の推薦

○紛争の現状(「ロータリーの重点分野」より)

- ・毎年、20,000人が地雷によって手足や命を

奪われています

- ・今日、紛争や迫害によって5,100万人が難民生活を強いられています
- ・紛争で命を落とした犠牲者の90%が一般市民で、そのうち少なくとも半数が子供です
- ・世界で18歳未満の子供30万人が少年兵として紛争に巻き込まれているといわれています

○紛争への対応

(「ロータリーの重点分野」より)

- ・社会から疎外され、暴力や迫害の危険にさらされた人々を支援する
- ・紛争の原因について学ぶ
(平和フォーラムを開催し市民同士で話し合う機会を提供する)
- ・紛争で親を亡くしたり、負傷したり、心に傷を負った子供たちを助ける
- ・紛争地帯から逃れてきた人々を救済する
- ・現地の学校、孤児院、職場、市民センターなどと協力して紛争解決や仲裁に取り組む
- ・理解と平和を推進するため、海外のロータリークラブと友好を築き、奉仕活動で協力する
- ・ロータリー平和フェロシップの候補者を探す(毎年最高100名に提供)
- ・紛争の要因(貧困、不平等、民族間の緊張、教育の欠如など)の解消に取り組むプロジェクトを計画する

○日本での活動例

(「rotary service」)

ロータリー奉仕の最新情報/

日本語-寄稿者:アズカ・アシフ

(ロータリー職員)より

ロータリーショーケースに掲載)

- ・可茂ロータリークラブ(岐阜)

人道主義について考える機会を子供たちに提供するために、第二次世界大戦中に大量のビザを発行して避難民を救った杉原千畝(ちうね)に関する演劇に、地元小中学生300人を招待しました。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

青木 邦弘/①安達様、今日はよろしくお願ひします。②2/4のがんセミナー、会員を含めお一人3名の集客をお願いします。

北澤 正浩/①安達様、ようこそいらっしやいました。卓話よろしくお願ひ致します。②皆出席祝ひありがとうございます。

二宮 登/47年の皆出席祝ひをいただき、有難うございました。

太田 勝典/安達様、卓話楽しみにしております。

内田 敏／安達様、お忙しい中卓話において頂きありがとうございます。よろしくお願い致します。

倉本 宏昭／安達様、本日の卓話よろしくお願い致します。

大川 伸一／安達様、ようこそおいで下さいました。卓話よろしくお願い致します。

市川 慎二／①安達様、本日の卓話宜しくお願い致します。②青木会長、高いカレンダー有難うございます。

吉原 則光／本格的な冬の寒さとなりました。安達様、ご多忙のところ卓話いただき有り難うございます。よろしくお願い致します。

新川 尚／①安達様、本日の卓話宜しくお願い致します。

安藤 公一／①皆出席表彰を頂きありがとうございます。②安達様、本日の卓話宜しくお願い致します。

■卓話「自由化その後、どうなる電力事業」 安達 亨

○自由化から1年、電力業界の変化は？

- ・新電力への移行率
- ・新電力参入数
- ・どこが勝ったのか？
- ・高圧一括受電と新電力
- ・引越し問題

○新電力への移行率

- ・競争下も協調維持
「協調と競争の両立に
しっかり取り組んでいく」

電気事業連合会勝野会長はこう述べ、ガス事業まで拡大する。エネルギー全体の総合的な観点から安定性の確保と自由な競争の両方への取り組みが必要との見解。

- ・家庭用新電力シェア 2.2%（東京 3.9%）
- ・特別高圧・高圧電力 11.0%（東京 15.6%）
ともに電力量ベースもっと熱くなるかと思っただが、思った以上に思考停止または慎重になっている印象。

○新電力参入数

- ・販売実績のあった業者数 249 社
- ・認可を受けたが販売実績無し 34 社
- ・2016年4月以降登録をしなかった 627 社

○どこが勝ったのか？

- ・家庭用シェアトップは東京ガス
2位は大阪ガス
エネットを激しく追うのは独立系の F-Power
でシェアを13%まで伸ばした。
続く3番手以降は、大手の丸紅新電力、JX
エネルギー、オリックスの順。



東京ガスが低圧の販売電力量では 32.5%のシェアを獲得してトップに

特別高圧・高圧のエネットと合わせて3部門すべてで1位を占めた。

- ・FIT 賦課金未納1社を公表／経産省
賦課金未納で社名を公表されるのは、日本ロジテック協同組合（破産手続き中）に続き2社目

○高圧一括受電と新電力

- ・高圧一括受電とは
集合住宅など同一の構内で、複数の低圧の需要家が集まり一括して高圧電力を受電する方式で、スケールメリットを生かして安価な電力を手に入れる方法。

・メリットとデメリット

メリットは上記の通り電力単価の削減だが、新電力乗り換え可能な今、メリットが目減りしている。むしろ、受電設備の保守管理にかかる費用や更新修理の費用、停電点検の負担などデメリット目立つ。

○新電力引越し問題

- ・引越しの対応

スマートメーターの普及により遠隔での遮断が可能となり、新電力のお客様が引越しの連絡を怠った場合電気を使えない状況が発生する可能性がある。連絡のリードタイムは最大で2週間程度とのこと、一般送配電事業者は連絡を受けてからほぼ当日に通電可能。

- ・集合住宅空き部屋の電気

上記のように遠隔で遮断できるので空き部屋は通電していない場合も多い。不動産業者は懐中電灯を持たせたり、清掃業者は発電機を用いての作業となる場合もある。

○発送電分離に向けての動向

- ・HDカンパニー化した東京電力

3社分離した元東京電力は情報の共有が出来なく、配電会社が作業料金を請求する場合など請求先がわからない等の弊害があり、申込者に頼ってくる形になっています。新電力は元東電も含め公平性を保って業務に当たる基本原則が有、不自由に見える部分もある。

- ・保安管理業務自由化から12年、公平性と独占のバランス

公平性がネックになっている節も…時間をかけて構築した信頼性を無視してすべての業者を公平に扱うのはむしろ不公平なのではないか？

- ・FIT(再生可能エネルギー推進)と発送電分離
発送電分離は後進の事業者の参入促進にな

り、結果再生可能エネルギー推進に繋がる。発送電分離のもう一つの目的にされていますが、FIT という制度にぶら下がる発電方式では電源としての価値は無い。早く FIT から卒業しないとただのお荷物になってしまう。

○再生可能エネルギーの未来

- ・自立したビジネスモデルの構築 FIT 認証取り消し？

前述したように、再生可能エネルギー賦課金の制度の中にある内はクリーンなエネルギーとか、環境に優しいエネルギーを使っている PR は出来ない訳で、早く効率の良い技術や設備を開発し日本がこの分野で先駆けになれるようにする必要がある。

- ・環境への配慮と推進力のバランス

今の制度上でなら儲かるからと乱開発をすれば、また大きな問題と呼ぶ可能性が高く、技術の発展と減速しない程度の推進をバランス良くコントロールしなければならない。

- ・冷静な環境負荷判断と正しい情報

その発電方法で得られる電力と引き替えに失うもの(製造建設時から廃棄まで)を正しく発信し、熱くなり過ぎないように盛り上げて欲しい、不完全な情報では環境保全の名の下のただの儲け話になってしまう。

○ガス自由化直前

- ・自由化の動向

電力、ガス監視委／

自由化応援隊長に安めぐみさんを起用し PR

電力・ガスの全面自由化に関する説明会

- ・電気の自由化になかった問題点

LP 事業では自由な料金設定が可能で、新規顧客獲得のために、LP ガス料金と内管工事費の不透明なセット販売がある。そのため「LP 料金が高い」「販売店を変更しようとする内管工事費を請求された」等の消費者苦情も多く、公取委や経産省は「不公正な取引方法」として指導してきた。

- ・電気、ガス、液体燃料 (GS)

総合エネルギーカンパニー化

- ・通信・電気、自由化・民営化で起こったこととガス自由化

自由化とセット販売の呪縛によるトラブル。インフラの利用者は使わない訳に行かず不利な条件で

の生活を強いられる可能性。

ビジネスとインフラ事業。

インフラ事業者の性善説に頼って行われていたサービスの崩壊。

ビジネスと割り切って参入してくる業者との温度差はかなり激しい。

○まとめ

- ・新電力安さで選ぶのか、知名度で選ぶのか？
私は安さで選んで良いと思う。
- ・ガスの自由化後に新たなセット販売が登場？
損得、契約の縛りに十分注意する。
- ・FIT の今後の舵取りによっては賦課金は跳ね上がるかも。
個人レベルではどうにも難しいが業界内での発言力を生かして協会には期待したい。
- ・制度とビジネスが交錯し、セットだ縛りだと単純比較がしにくい状況になるので情報には絶えずアンテナを張って欲しい。
新聞やテレビももちろんのこと。
新電力比較サイトなどは情報やコラムも充実しているので要チェック。

■次週の卓話

2/8 職業卓話 佐藤利明会員

週報担当 吉原 則光

2016～2017年度 第11回 理事会 議事録			
日 時	平成28年1月18日(水) 18時30分～	青木 邦弘 五十嵐 正 市川 慎二 佐藤 真吾 滝澤 亮 田川 富男 新川 尚 北澤 正浩 二宮麻理子 (欠席者) 安藤 公一 鈴木 茂之 福村 正	
場 所	事務所		
報告事項	1) 特別委員会の議案3月中に方向性、または結論をお願いします。 ・事務所移転委員会 太田会員の事務所2月末に完成予定 ・50周年準備委員会 ・細則・規定改正委員会 2) 情報集会については、1-2月で実施をお願いします。 ・50周年行事その他の事案について (ビジョン、イベント、その他) ・増強について 3) 財団意義ある業績賞へ応募の件 ・五十嵐会員に一任 よろしくをお願いします。		
審議事項	1) 横浜旭高校インターアクトクラブ設立について 1月29日 1月29日インターアクト年次大会後に決定 2) がん講演の集客状況 サンハートに確認 ・寄付金箱の設置 東日本支援 3) チャリティーコンサート決算について 決算書が出てから検討 4) クリスマス例会決算 支出 688,794円 承認 5) 2月5日 よこはま国際フォーラム2017に隼人高校が参加 場所 JICA横浜 時間 13時10分～15時20分		